

令和7年度 わくわく園庭作りプロジェクト ～前期の取組～

わくわく園庭作りプロジェクトとは

園庭を「心や体がわくわく・ドキドキして思わず関わりたくなる場」にするために、5歳児が中心にアイデアを出し、子どもと職員が一緒につくっていくプロジェクトです。

令和4年度から取り組みを開始しました。

令和5年度から、推進委員会を立ち上げ、下の図の「池作り」「草花と仲良し」「虫さんおいで」「ごっこ遊び」「運動遊び」の5つのグループのリーダーが毎月集まり、進捗状況やこれから取り組みたいことを確認・検討しながら進めています。

令和6年度は、全保育者が5つのグループのいずれかのメンバーになって、園庭が子どもたちの「主体的な遊びの場」「豊かな経験をする場」になるように取り組んでいます。

自然環境の充実			遊びの充実	
池作り	草花と仲良し	虫さんおいで	ごっこ遊び	運動遊び

【池作りのグループの取組み】

グループでは、池の水温を計ったり環境を整えたりして、池のメダカが産卵して、稚魚が育つのを目標にして取り組んでいます。

そして、うれしいことに、昨年、子どもたちと一緒に稚魚から育て、園庭の池に放流したメダカが暑い夏を乗り越えて、元気に泳いでいます！今年度初めに池の周囲の環境（日よけ、網、柵）をグループの職員で整えました。また、周囲のゴミや落ち葉拾いをしたり、池の水のゴミをすくったり、減ってきた水を足したりを、ふあいと組が中心にお世話をしています。

餌やりは、現在保育者が行っていますが、今後は餌タイムを設けて、餌やりの時間をあらかじめお知らせして、集まった子どもたちが行えるようにしていきたいと考えています。

ごはんあげています



餌を与えた時は左の○

餌を与えてない時は右の×
を池の上に表示します。

ごはんあげていません



【草花と仲良しのグループの取組み】

子どもたちが草花を使った遊びを楽しめるように、園庭の花壇や3階のテラスに様々な花を植えてきました。今春も、パンジーやサルビア、マリーゴールド、オシロイバナ、アサガオ、オジギソウ、フウセンカズラなどの花を新たに植えました。

園庭に出ると、草花と関わって遊ぶ子どもたちの姿を目にします。それは、砂で作ったケーキやごはんに、落ちている花やハーブの葉を飾り付けたり、アサガオやオシロイバナの花を水の中でもんで紫やピンク色に染まることに気付き、「きれい！」「ジュースみたい」と遊んだりする姿です。

2学期も子どもたちが草花に親しめるように、秋の草花を植えたり、遠足や散歩でとってきた落ち葉や木の実などを使って楽しめる遊びを紹介したりしていきます。玄関のホワイトボードで、子どもたちが遊んでいる姿を紹介しますのでどうぞお楽しみにしてください。



【虫さんおいでのグループの取り組み】

幼児が園庭で虫探しを楽しむ中で、様々な虫の種類や虫の特徴、食べるもの、住む環境等に関心をもつように、園庭での虫を呼び込む環境作りを進めています。今年度も『とうきょうすくわくプログラム』の活動と連携し、5歳児がワイルドフラワーの苗植えをしたり、バッタやそれを食べるカマキリを呼び込むためのイネ科の植物が生える場を作ったりしました。そのおかげで、夏に園庭でバッタが見られました。また、苗植えした「すくわくひろば（下の左写真）」の花にミツバチやチョウがとまるのを目にします。トンボもよく飛んでいます。現在、職員室前のホワイトボードでは“園庭虫探しおすすめスポット”を紹介しています！

また、1学期に幼児部の各クラスがそれぞれ虫探しや虫の観察を楽しんでいる様子、クラスで飼育している虫の変化などについて玄関のホワイトボードで紹介しました。ダンゴムシ探しに夢になるぼうけん組の姿や、ふあいと組になると虫眼鏡を使って観察したり、さなぎが何に変わるかを想像したりして探求する姿が見られるようになったことが、グループとしてもうれしいです♪



おすすめスポット①
5歳児が苗植えした
「すくわくひろば」



おすすめスポット②
エノコログサなどイネ科
の植物が生えた
「ばったのもり」

【ごっこ遊びのグループの取り組み】

1学期には、子どもたちが園庭で“どのようなごっこ遊びを楽しんでいるのか”についてグループの職員間で写真を撮って振り返りました。（職員室前のホワイトボードにもその写真が貼ってあるのでぜひ見てください♪）また、園庭のマップを活用しながら、「ここではこのような遊びを楽しめそう！」そして、「そのためにもこのようなものがいい！」とわくわくしながらアイデアを出し合いました♪

「園庭だからこそ、自然物を活用したごっこ遊びができれば、より楽しくなるのではないか」「場作りがしやすいものがあれば、ごっこ遊びがより豊かになるのではないか」という意見が出たので、これらを実現するために、現在園庭の環境を整えています♪ その後の子どもたちがごっこ遊びを楽しむ様子を玄関のホワイトボードにてお知らせする予定です、ぜひお楽しみにしてください！

園庭マップを活用して
この場所ではこのようなごっこ遊びが楽しめそう！と意見を出しました♪



【運動遊びのグループの取り組み】

昨年度の反省から、運動遊びに使う遊具のメンテナンスや整理等を職員間で分担したことで、子どもたちがいつでも運動遊びをしやすい園庭環境を保てるようになりました。

9月には、ホワイトボードで、運動遊びの中の「水遊びの様子」を紹介しましたので、ぜひご覧ください。

少しずつ戸外で過ごししやすい秋の気候になり、子どもたちは園庭で体を動かす楽しさや心地よさを感じています。今後も子どもたちの意欲向上を目指して、思わず使って体を動かしたくなる運動遊具や環境を取り入れていきます。



運動遊具が取り出しやすくなり、興味を示して関わる子どもの姿が増えました。

各グループの取組の様子をお伝えするホワイトボードを
保護者の方にも見やすい玄関に引っ越しました。
保護者の方も是非ご覧ください！！



※ホワイトボードは、各グループの取り組み内容を知るだけでなく、こんな活用をしています。

活用①

例えば、「虫さんおいで」のグループの職員が、「虫を入れるケースとそのふたがバラバラになって使いたい時に使えない。」という問題に対して、ケースとふたに同じカラーテープを目印として付け、組み合わせを分かりやすくしました。



この内容をホワイトボードに表記し、幼児部の各クラスに回覧します。各クラスの担任が、ホワイトボードの内容を子どもたちに伝え、子どもたちのつぶやきや意見を「虫さんおいで」グループの職員に伝えます。



その後の子どもたちの虫かごの使い方をホワイトボードに掲載予定です。

※このように応答性・循環性のあるホワイトボードにしています。

活用②

子どもたちが、アイデアを思いついたときに、ホワイトボードに各グループのメンバーの職員の顔写真があるので、担当の職員に話したり相談したりできるようにします。